

まつぼっくり



宇城市立三角小学校
学校だより 第68号
文責 校長 西村羊治
令和8年1月14日

学校教育目標 「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」

ビフォー・アフター

明治5年に学制が発布されて、その後全国各地に小学校がどんどんできました。それから約150年が経つので、全国各地の小学校がここ数年で150周年式典を開催しています。三角小学校の歴史は複雑で、明治7年に波多村波多校・戸馳小学校、明治8年に郡浦小学校本村校、明治10年に大田尾小学校、そして明治23年に石田分教場の5校ができました。校名の変更や合併により、三角東小学校や三角北小学校ができました。さらに歳月は流れ、平成17年4月に今の宇城市立三角小学校ができました。ありますから新生三角小学校は、開校して20年が経とうとしているところです。20年と言えば、150年と比較するととても短いですが、三角小学校名の看板は経年劣化で見えづらくなっています。そこで、コメリで黒ペンキと刷毛を購入し、学校案内板を先日塗り直しました。デスクワークより外作業が好きな私にとっては、心地よい時間となりました。



私が34年前、熊本県の教員になったときには三角町立三角東小学校・三角北小学校・三角小学校・戸馳小学校がこの地区にはありました。しかし月日は流れ宇城市への市町村の合併及び学校の統廃合が進みました。

歴史ある、そして素直で明るい子どもたちが健やかに学習している三角小学校をいつまでも守っていきたいものです。

みすみんマスコット

今年度、三角小学校のキャラクターである「みすみん」がマスコットとして誕生しました。三角のデコポン、東港のピラミッド、戸馳のらん、三角の海などをイメージしたかわいく愛らしいキャラクターです。私は一目惚れしました。そのかわいいマスコットを本校図書司書の那須先生が、裁縫をして手作業で作ってくださいました。商品になるようなすばらしいできです。このかわいらしいマスコットの「みすみん人形」、確実に学校の人気者になることと思います。お忙し中に特技の手芸を生かして作ってくださった那須先生、本当にありがとうございました。



後姿

前から

